

# 生物多様性保全へ向けて熱帯雨林の再生活動を実施 ～植林・育成活動の継続と「富士通レディースの森」の新設～



富士通グループは、マレーシア・ボルネオ島において熱帯雨林の再生活動に取り組んでいます。2009年11月、自然教育の概念を兼ね備えた「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」にて社員ボランティアによる植林・保育・調査活動を実施したほか、「富士通レディースの森」を新設しました。

## 熱帯雨林の再生で未来へつなぐ多様な動植物

2002年より「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」において、サバ州森林開発公社(SAFODA)の協力のもと、植林活動を中心とした熱帯雨林再生支援活動を実施しています。これまで、原生種の苗木3万7,500本を植林してきましたが、その苗木をきちんと育てていくためには、継続的なメンテナンスが不可欠です。2009年11月27日から30日にかけて実施した熱帯雨林再生活動では、これまでに植林してきた場所の補植や雑木の伐採等、2008年度からの継続活動である保育作業を実施しました。また、あらかじめ定めたルートに沿って動植物の出現種数を記録するラインセンサス法※を用いて、植林場所に生息する鳥獣の調査も行い、熱帯雨林の再生に向けた様々な活動を展開しました。



ボランティアの手で1本ずつ丁寧に植林

### ※ラインセンサス法

あらかじめ定めたルートに沿って動植物の出現種数等を調査する方法。ルートを固定化することによって、経年的な比較等を可能にする効果がある。

## スポーツ活動を通じて環境保全に貢献

また、熱帯雨林再生活動に加え、「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」内に「富士通レディースの森」を新設しました。

「富士通レディース」は、1978年にスタートした富士通プロアマチャリティゴルフトーナメントが前身であり、スタート時の「チャリティ精神」は現在も受け継がれています。2009年10月開催の「富士通レディース2009」では、環境プログラム「バーディーforグリーン」により、同パークに1,000本の苗木を寄付しました。「バーディーforグリーン」は、バーディー、イーグル等、選手の成績に応じて熱帯雨林の再生活動に苗木を寄付するものです。

今後も、スポーツを通じた植林活動を積極的に推進し、将来的には「富士通スポーツの森」へと発展させていきます。

富士通グループは、「富士通グループ生物多様性行動指針」に基づき、熱帯雨林の再生に一層の努力を続けていきます。



2009年11月新設の「富士通レディースの森」

富士通グループはチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

**FUJITSU JOURNAL**  
富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社  
マーケティング本部 eマーケティングセンター  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2  
(夕留シティセンター)  
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先

富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200  
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>



※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。  
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。

※本誌は、森林認証紙を使用しています。また、印刷インキは大豆インキを使用しています。

©富士通株式会社2010 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Copyright ©2010 by FUJITSU LIMITED

WE0024-2010年02月AP